

千葉県障害者スポーツ競技団体支援事業 陸上競技（体験会）
CIDAA冬季陸上競技教室 兼2021第1回ID陸上競技記録会要項

- 1 目的 障害の有無に関わらず陸上競技を体験する機会を提供することにより、障害者スポーツの魅力を発信するとともに障害のある人の理解を促進し、障害者スポーツの振興を図る。
- 2 主催 千葉県知的障害者陸上競技協会
- 3 名称 千葉県障害者スポーツ競技団体支援事業 陸上競技（体験会）
兼 CIDAA冬季陸上競技教室 兼 2021第1回ID陸上競技記録会
- 4 後援（予定）全日本知的障がい者スポーツ協会、日本知的障害者陸上競技連盟
千葉県知的障がい者スポーツ協会、千葉県知的障害者福祉協会
千葉県特別支援学校校長会、千葉県手をつなぐ育成会、千葉市手をつなぐ育成会
- 5 協力 （一社）千葉県障がい者スポーツ協会、日本大学、立教大学、成田高校他
- 6 期 日 令和3年2月28日（日）午前9時00分～午後4時00分
- 7 会 場 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場
- 8 日 程 8:00 開場
8:30 スタッフ受付
9:00～10:00受講者時間
*記録会のみ場合は11:30まで
10:00 オリエンテーション *注意事項伝達のみ、開講式は行わない
10:10 実技 トレーニングの方法～練習方法の基礎～
短距離走 講師：五木田佑美
中距離走 講師：三国 蔵人
跳躍種目 講師：清水 崇史、福井 修
投てき種目 講師：志田 裕介
11:40 記録会 800m、5000m
昼食
13:00 記録会 100m、200m、400m、1500m
走幅跳、走高跳、ジャベリックスロー
15:30 終了予定 *閉講式は行わない

9 対象者 陸上競技を愛好する障がい者及び障がい者のスポーツ指導者

10 申し込みについて

- (1) 様式1「CIDAA陸上競技教室参加申込書(事前)」で2月8日(月)までに申し込むこと。
- (2) 受講料:無料
- (3) 傷害保険に加入する（主催者負担）。
- (4) 受講者で昼食を希望するものには無償で用意するので申込書に記載すること（当日申込不可）。
- (5) 書式 (Word) は<https://www.makinomikai.or.jp> に掲載する。

<事務局>千葉県知的障害者陸上競技協会

〒289-2251千葉県香取郡多古町北中1309-160ひかり学園

TEL0479-76-5500Fax76-5519 藤崎 明（気付）

<e-mail> chitekirikyoku@gmail.com



11 感染症に対する注意事項

様式2「CIDAA陸上競技教室参加申請(体調確認)書(当日用)」は受付時に必ず提出すること。提出が無いものは参加できない。

- (1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（当日受付で確認する）。

- ・体調がよくない場合（発熱(37.0以上)、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な知人にコロナ等の感染症が疑われるものがある場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- (2) マスクを必ず持参し、受付時や着替え時等のスポーツを行っていない時にはマスクを着用すること。参加者はマスクを必ず準備し、スポーツを行っている時間以外はなるべく着用すること。ただし、熱中症等予防のため、他の方と2m(最低1m)以上の距離をとれば着用しなくてもよいこととする。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外し、休憩を取る等して無理をしないこと。
- (3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をすること。
- (4) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m、最低1m以上）を確保すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合や競技中を除く。）
- (5) 本イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- (6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- (7) 本イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告し、あわせて濃厚接触者の有無等について報告すること。

12 受付について

- (1) 受付窓口には、手指消毒剤を設置する。
- (2) 発熱（37.0以上）や軽度であっても咳や咽頭痛などの症状がある人は競技場内に立ち入らないこと。受け付けには体温計を置くので必要に応じて検温すること。
- (3) 受付をする係員はフェースシールドまたはそれに代わるもので遮蔽し、かつ、マスクを着用する。
- (4) 受付場所では立ち位置の目印を設置する（2m～1m）ので、参加者は距離をおいて並ぶこと。
- (5) 当日の受付時間は9時から10時までの1時間以内または記録会のみ場合は11時30分まで受け付けているので混雑を避けて受け付けをすること。

13 連絡事項

- (1) 洗面所（トイレ）、手洗いについて
 - ① トイレは室内走路、メインスタンド第1及び第4ゲート前、本部室前等にある。
 - ② トイレ内のドアノブ、水洗トイレのレバー等については、主催者が消毒する。
 - ③ トイレの蓋を閉めて汚物を流すこと。
 - ④ 手洗い場には石鹸（ポンプ型）を用意する。
 - ⑤ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をするのでしっかりと洗うこと。
 - ⑥ 手洗い後に手を拭くためマイタオルの持参すること。一人1本ずつとし、共用しないこと。
 - ⑦ アルコール等の手指消毒剤を受付に用意しておく。ただし、貸し出しはしない。
- (2) 受付、待機場所及び更衣室について

受付は正面玄関内におく。待機場所は室内走路を開放する。更衣室は室内走路の前にある。

 - ① 更衣室は広さにゆとりはあるが、集中すると他の参加者と密になることもあるので、使用は短時間にする。また、更衣室内を待機場所としないこと。
 - ② ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等については、できるだけまめに消毒する。
 - ③ 換気扇を常に回し、換気用の窓を開ける等、換気に配慮する。
- (3) 飲食物の提供時

主催者は、スポーツドリンク等の飲料水及び希望者に昼食を用意する。利用にあっては次のことに留意すること。

 - ① 参加者は飲食物をする前に、手洗い、手指消毒を行うこと。
 - ② 主催者が用意した飲料水を飲むときは、使い捨ての紙コップを用意するので、一杯ごとに新しい紙コップで飲むこと。
 - ③ 飲食物を取り扱う係員にはマスクと手袋を着用させる。
- (4) 家族や観客について

感染症拡大防止の観点から家族や観客の競技場内への立ち入りは認めない。ただし、送迎などで会場で待機する場合はメインスタンドで待機するものとし、参加者の待機場所（室内走路）や更衣室等には立ち入らないこと。

また、メインスタンドでは椅子2つ以上あけて座ること。なお、声をあげての応援は慎むこと。
- (5) ゴミの廃棄
 - ① 主催者が用意した飲料水を飲むときに使用した紙コップは所定のごみ袋に捨てること。

- ② 主催者が用意した弁当の容器及び残飯は回収できないので各自で持ち帰ること。
- ③ ①の紙コップ以外のごみ類は各自の責任で持ち帰ること。なお、鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること。

13 参加者の留意点

- ① 本イベントに参加する個人や団体は、密にならないよう、周囲の人となるべく距離を空け、十分な距離を確保すること。（実技中や競技中あるいは介助者や誘導者が必要な場合を除く。）また、ミーティングや更衣室使用時及び食事等においても、三つの密を避け、会話時にはマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること。
- ② 競技場内を含め、スポーツセンター内で唾や痰を吐くことは絶対しないこと。
- ③ タオルの共用はしないこと。
- ④ 飲食は、室内走路の待機場所やメインスタンド以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。また、同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと。
- ⑤ 飲みきれなかったスポーツドリンク等は係員に聞いてから処理し、勝手に捨てないこと。

14 その他

- ① 主催者は様式 1「CIDAA 陸上競技教室参加申込書(事前)」について、個人情報の取扱いに十分注意しながら、本イベント準備のために使用し、傷害保険などにかかわる期間が経過後、保存の必要性がなくなったらシュレッダー処理したうえで破棄する。
- ② 主催者は様式 2「CIDAA 陸上競技教室参加申請書(当日用)」について、個人情報の取扱いに十分注意しながら、感染症発生に備えるため、1 か月間保存し、保存期間終了後はシュレッダー処理したうえで破棄する
- ③ 本イベント終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合、関係機関と協議の上対応する。
- ④ スマートフォンを活用した接触確認アプリの導入を推奨するが、アプリに関する件についてはいかなる理由でも主催者はその責任を負わない。
- ⑤ 陸上競技にふさわしい服装（スポーツウェア、シューズ等）で参加のこと。
- ⑥ 雨天対策(雨具の用意)や寒さ対策（防寒着、手袋、ネックウォーマー等）をしておくこと。
- ⑦ 受講者で昼食を希望する者には無料で弁当を用意する。ただし、発生したごみは各自の責任で持ち帰ること。持ち帰り用の袋などはプラごみ削減の観点から用意はしない。なお、引率者や家族等には弁当は用意できない。

以上